



令和4年1月17日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和4年1月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和4年1月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

概況	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/01/overview.pdf
建設分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/01/construction_menu.html
交通分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 飯田

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

FAX:(03)5253-1567

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 片境

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

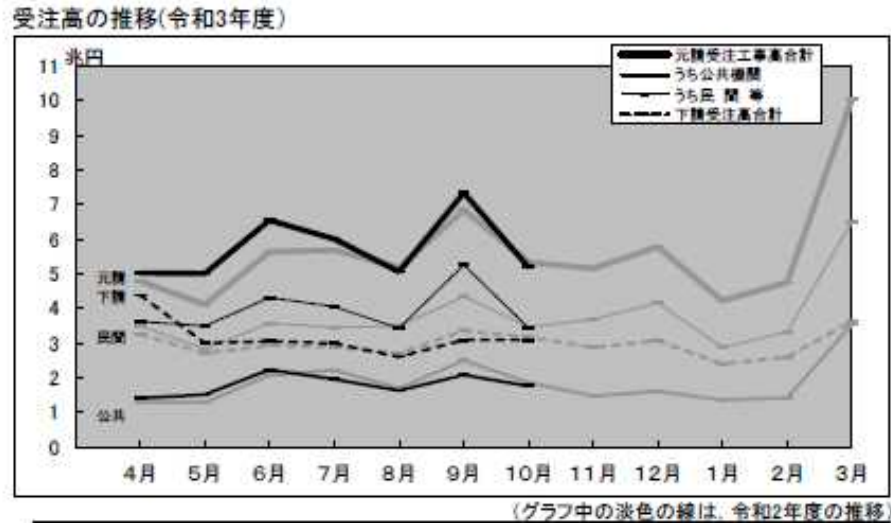
FAX:(03)5253-1566

国土交通月例経済（令和4年1月号）概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

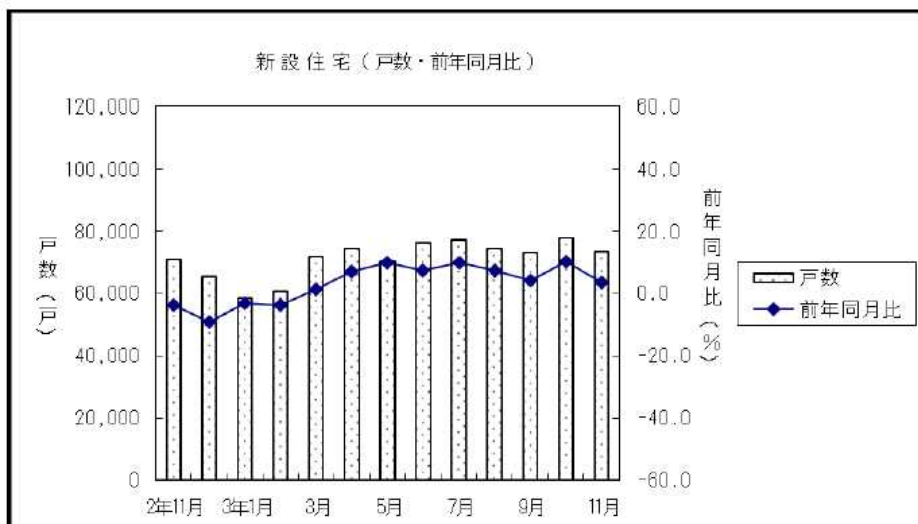
10月の受注高は8兆2,892億円で、前年同月比2.5%減少した。うち元請受注高は5兆1,955億円で、同2.5%減少し、下請受注高は3兆937億円で、同2.5%減少した。元請受注高のうち公共機関からの受注高は1兆7,596億円で、同5.6%減少し、民間等からの受注高は3兆4,359億円で、同0.8%減少した。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

11月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比3.7%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.9%の減少となった。



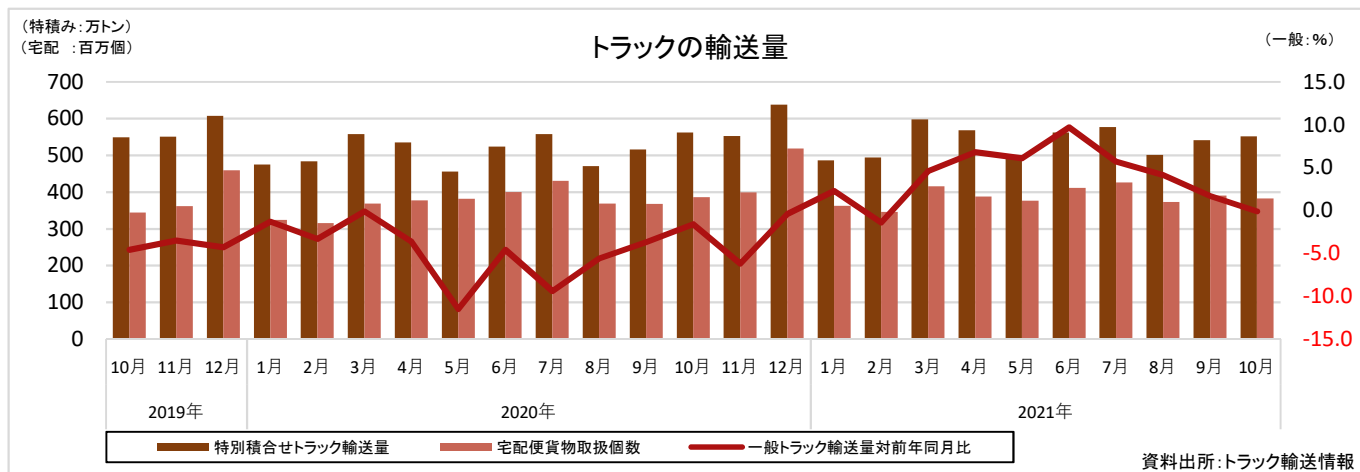
出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

II 交通分野

1. 貨物輸送

(1) トラック

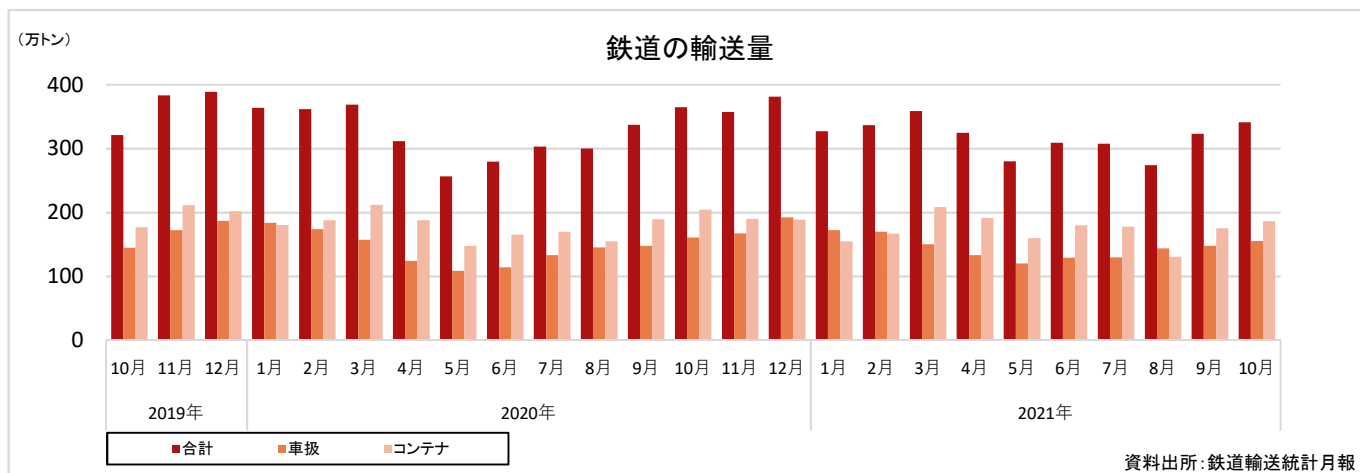
10月の特別積合せトラック（大手24社）の輸送量は552万トン（対前年同月比1.8%減少）、宅配貨物取扱事業者（大手14社）による宅配便貨物取扱個数は383百万個（対前年同月比0.9%減少）、全国の一般貨物トラック事業者（約1,000社）による一般トラック輸送量は対前年同月比0.1%減となった。



(2) 鉄道

10月の鉄道の輸送量は341万トン（対前年同月比6.4%減少）となった。

そのうち、車扱は155万トン、コンテナは186万トンであった。

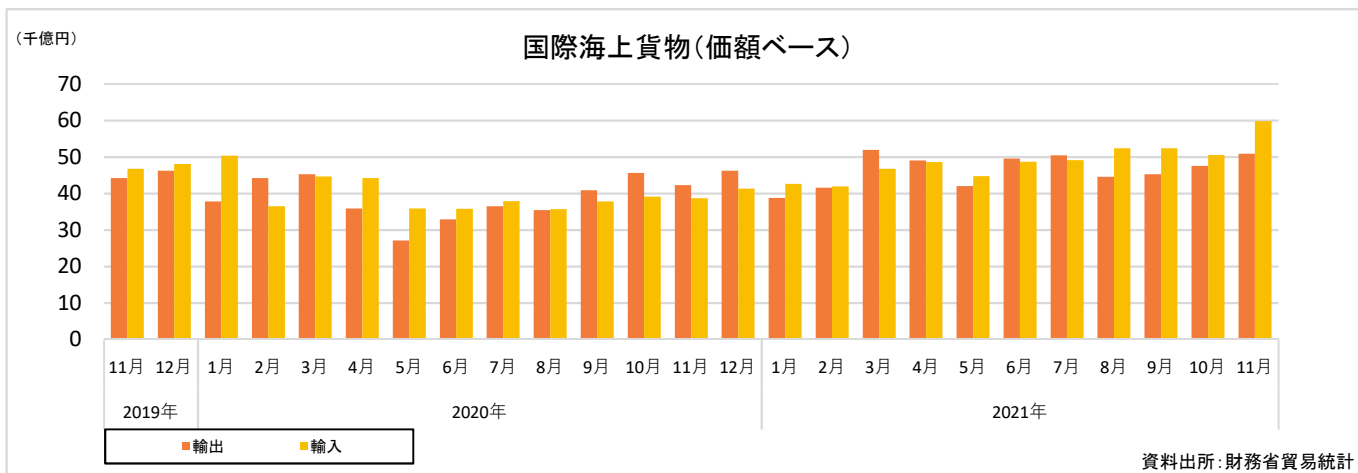
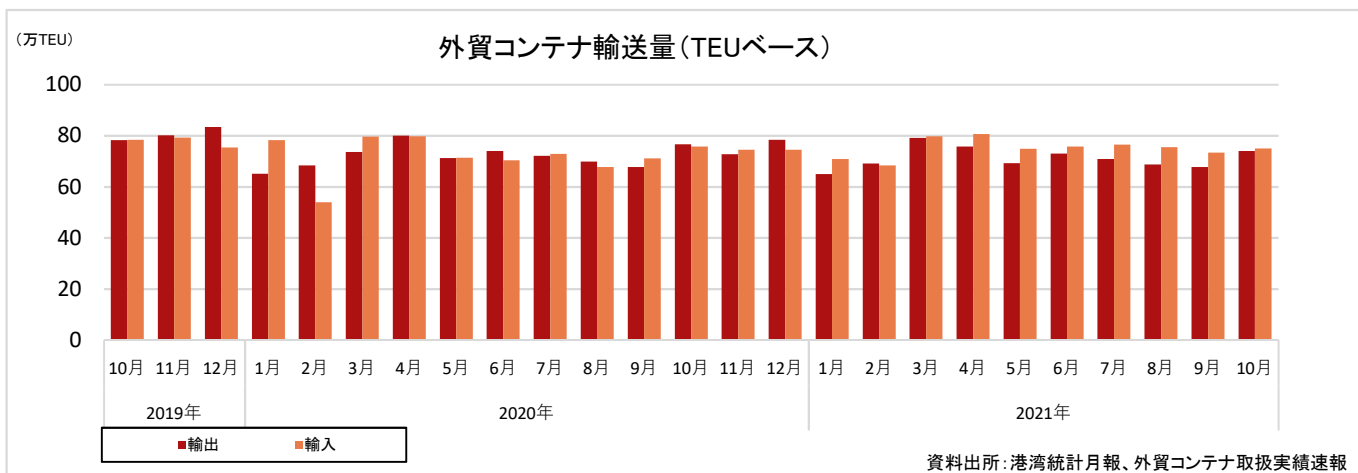
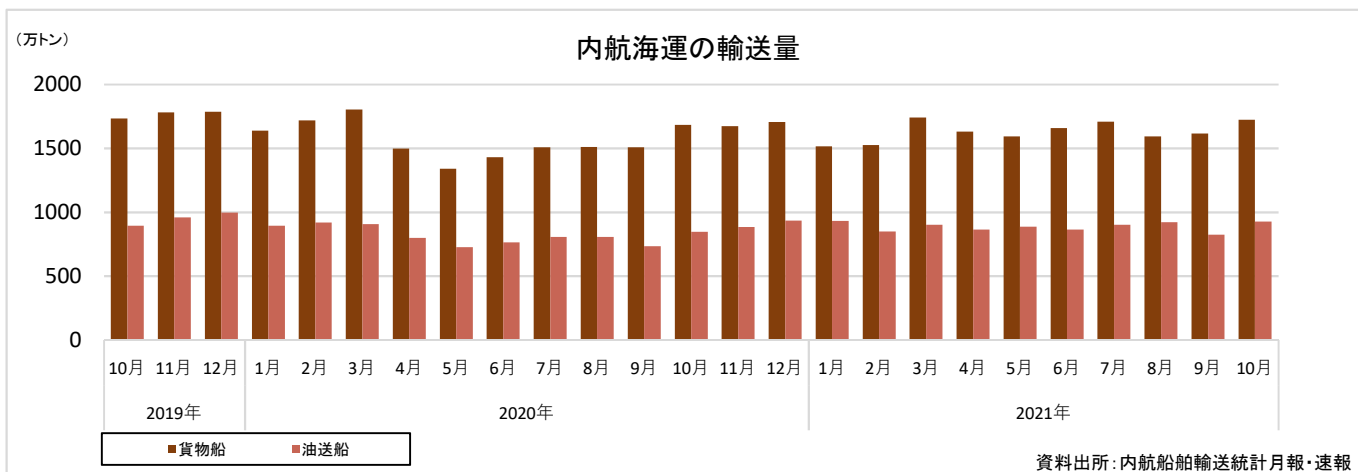


(3) 海運

10月の内航海運の輸送量は、貨物船1,724万トン（対前年同月比2.4%増加）、油送船926万トン（対前年同月比9.5%増加）となった。

10月の外航海運（外貨コンテナ）の輸送量は、輸出74万TEU（対前年同月比1.7%増加）、輸入75万TEU（対前年同月比1.6%減少）となった。

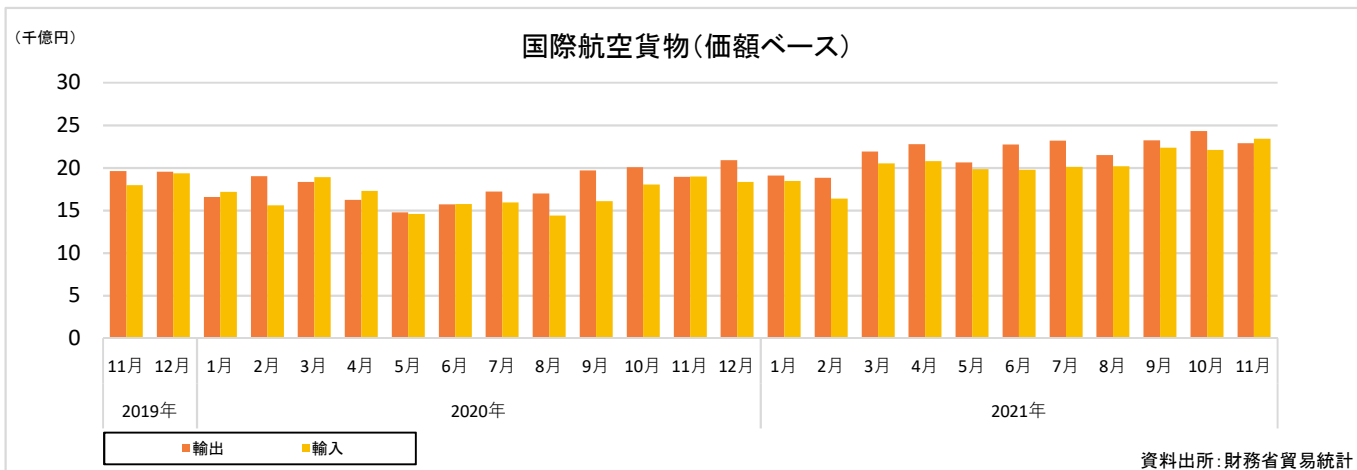
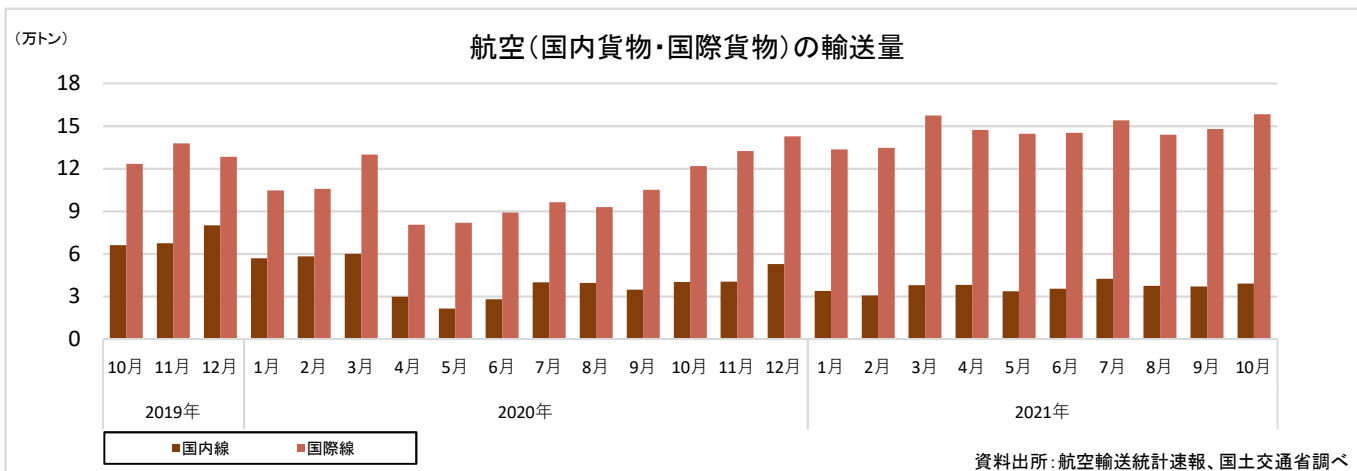
11月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出5.1兆円（対前年同月比20.3%増加）、輸入6.0兆円（対前年同月比54.9%増加）となった。



(4) 航空

10月の航空の輸送量は、国内線 39 千トン（対前年同月比 2.8%減少）、国際線 158 千トン（対前年同月比 30.0%増加となった。

11月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出 2.3 兆円（対前年同月比 20.9%増加）、輸入 2.3 兆円（対前年同月比 23.4%増加）となった。

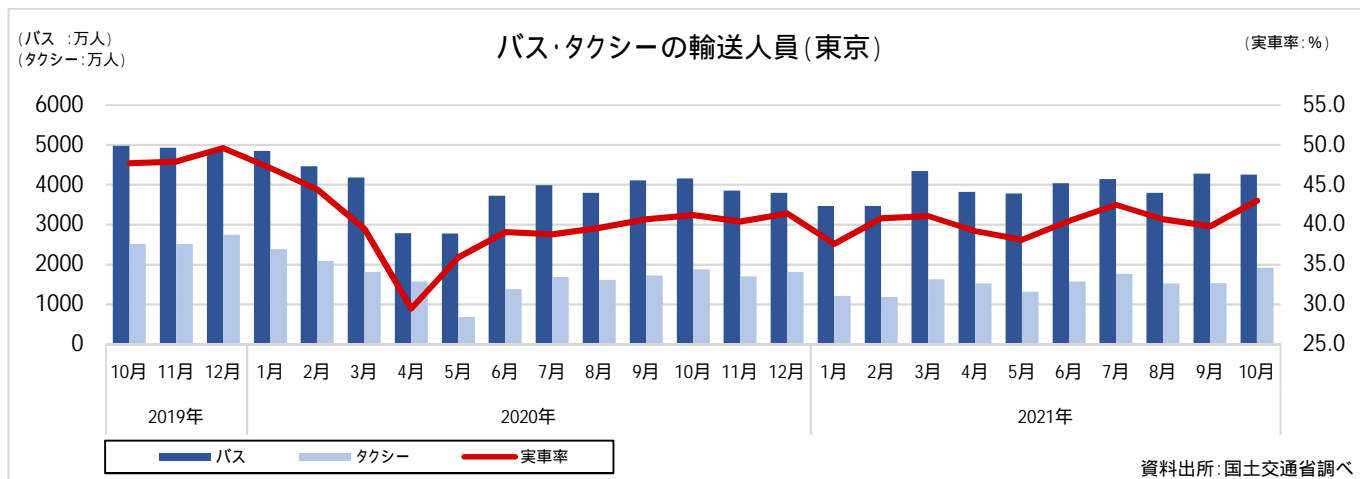


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

10月のバス(東京均一制区間を運行する乗合事業者(10社))の輸送人員は4,254万人(対前年同月比2.4%増加)となった。

10月のタクシー(東京都(島しょを除く)の全社)の輸送人員は1,920万人(対前年同月比2.1%増加)実車率は43.0%となった。



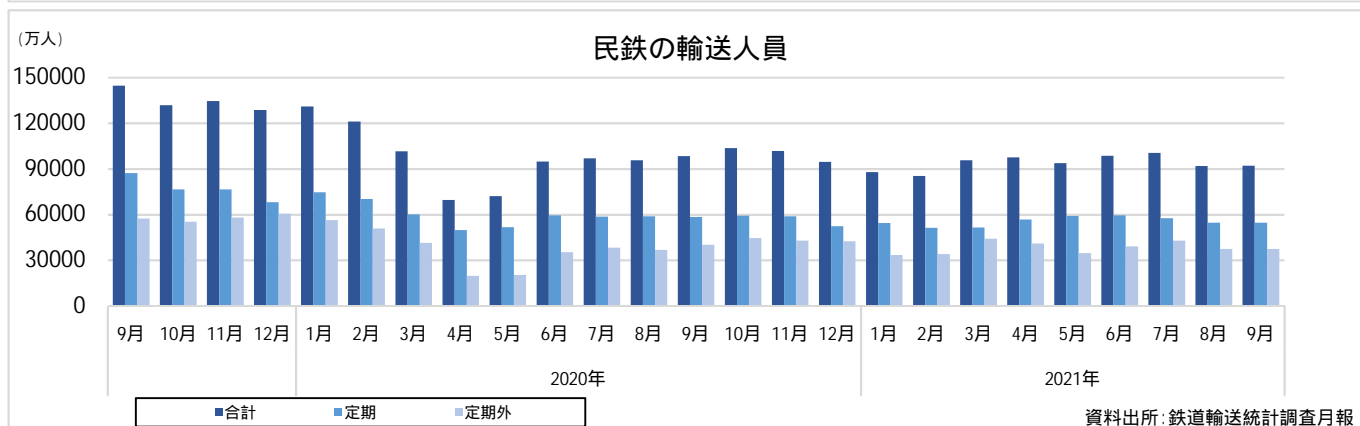
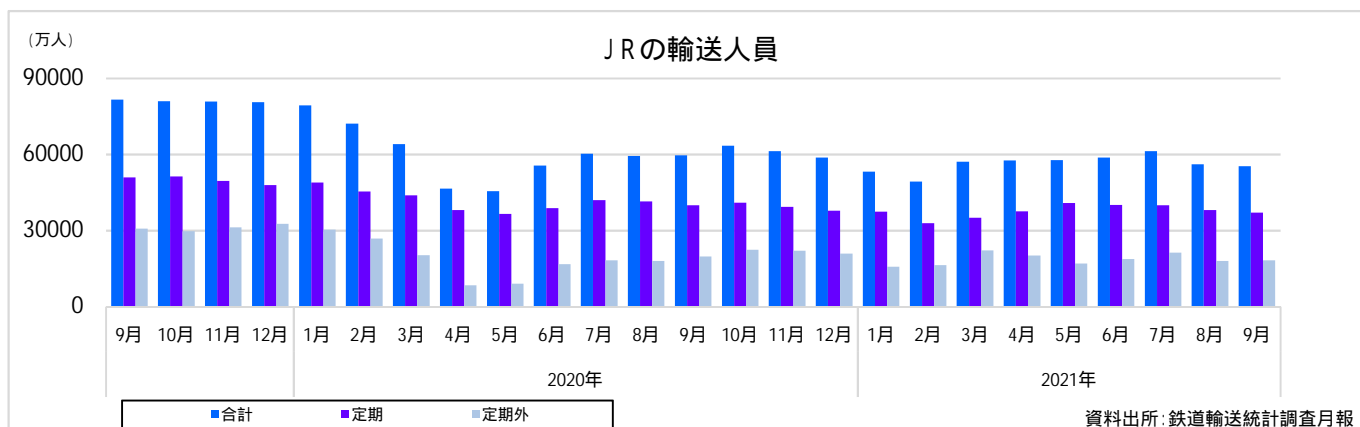
(2) 鉄道

9月のJRの輸送人員は55,352万人(対前年同月比7.3%減少)となった。

そのうち、定期は37,137万人、定期外は18,215万人であった。

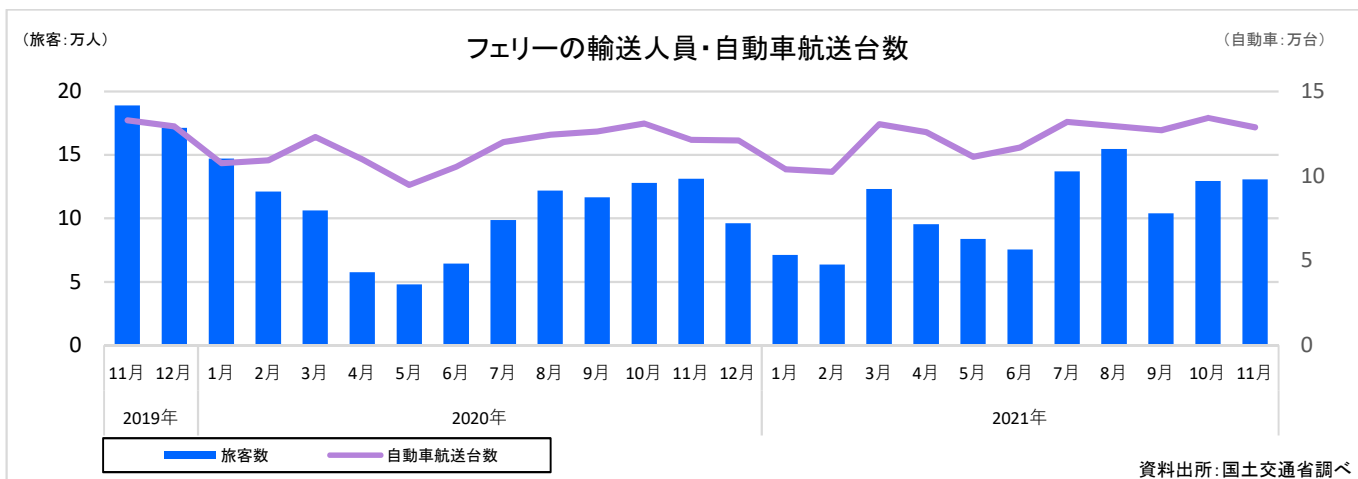
9月の民鉄の輸送人員は92,020万人(対前年同月比6.5%減少)となった。

そのうち、定期は54,624万人、定期外は37,396万人であった。



(3) フェリー

11月の長距離フェリーの輸送人員は13万人（対前年同月比0.4%減少）、自動車航送台数は13万台（対前年同月比6.1%増加）となった。

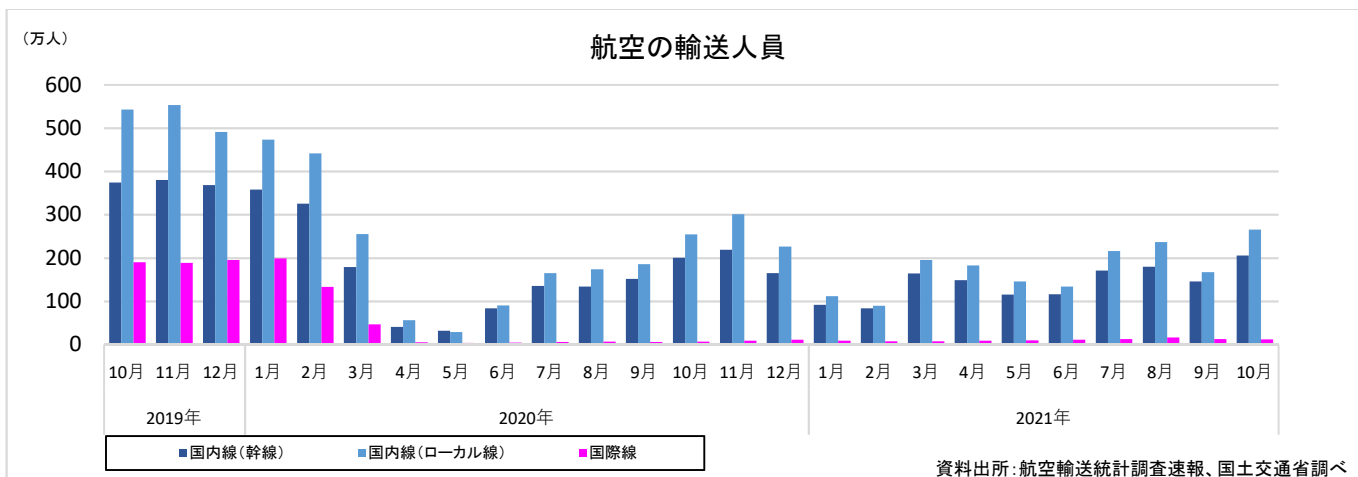


(4) 航空

10月の国内線の輸送人員は471万人（対前年同月比3.6%増加）となった。

そのうち、幹線は206万人、ローカル線は266万人であった。

10月の国際線の輸送人員は12万人（対前年同月比86.6%増加）となった。



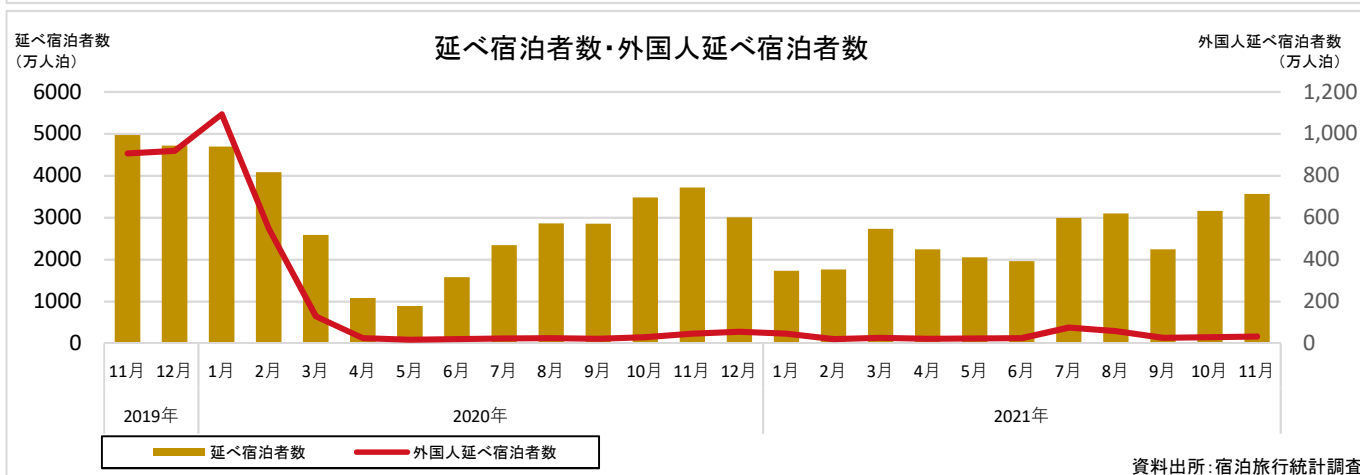
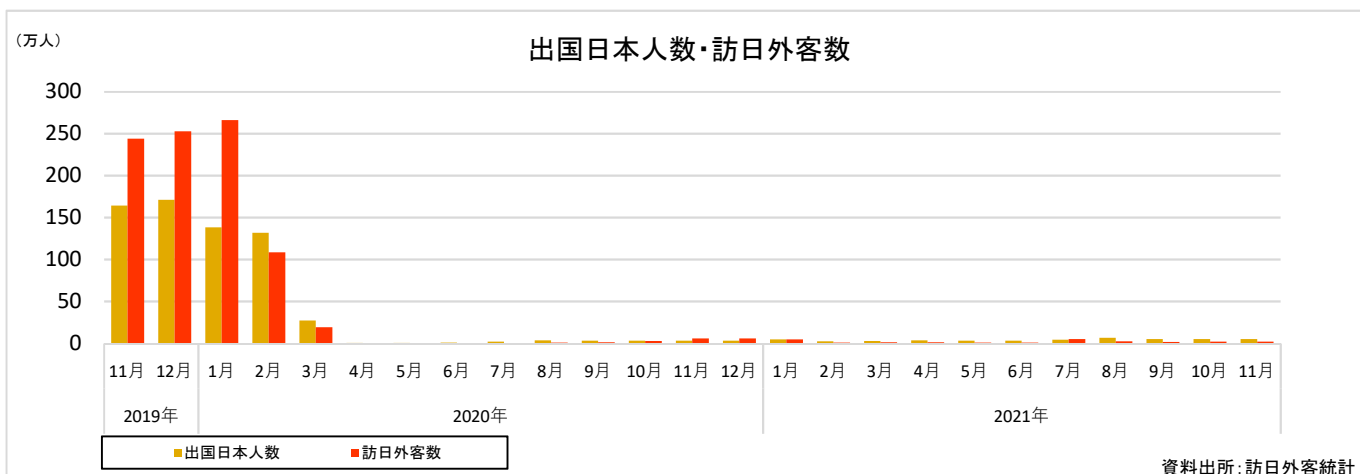
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

11月の出国日本人数は5万人（対前年同月比68.7%増加）、訪日外客数は2万人（対前年同月比63.5%減少）となった。

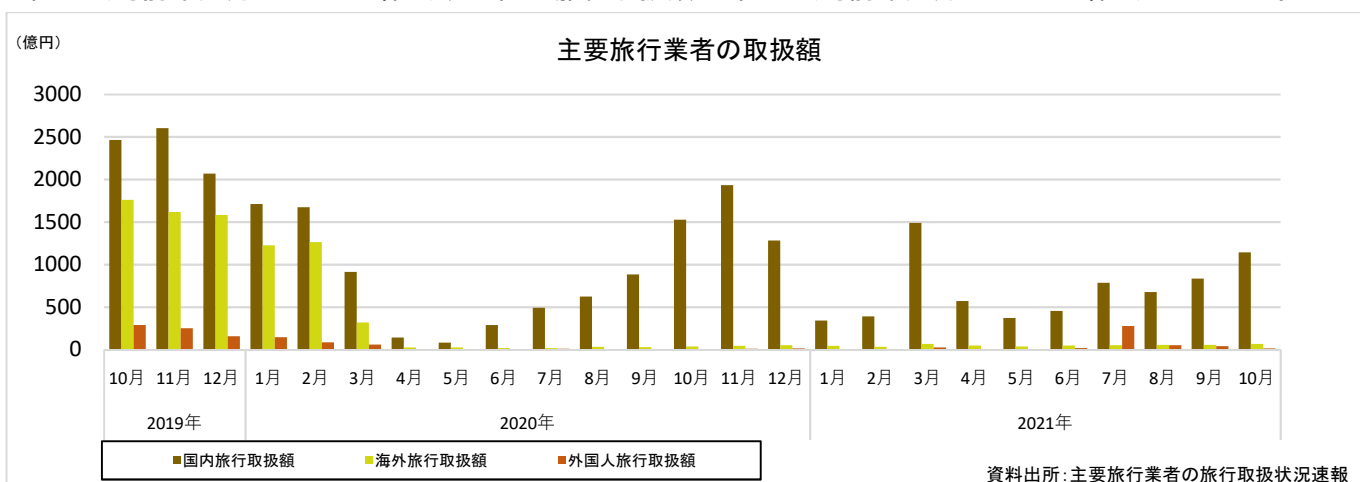
11月の延べ宿泊者数は3,562万人泊（対前年同月比4.1%減少）となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は32万人泊（外国人シェア0.9%）であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

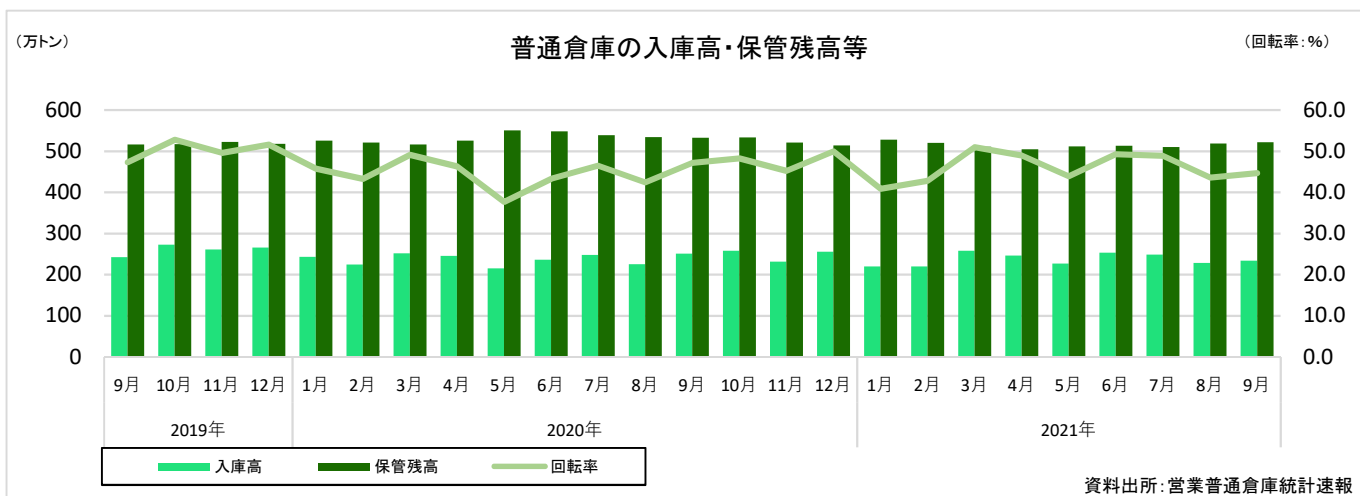
10月の主要旅行業者（48社）の取扱額は、国内旅行1,142億円（対前年同月比25.3%減少）、海外旅行68億円（対前年同月比93.5%増加）、外国人旅行取扱額13億円（対前年同月比82.5%増加）となった。



4. その他

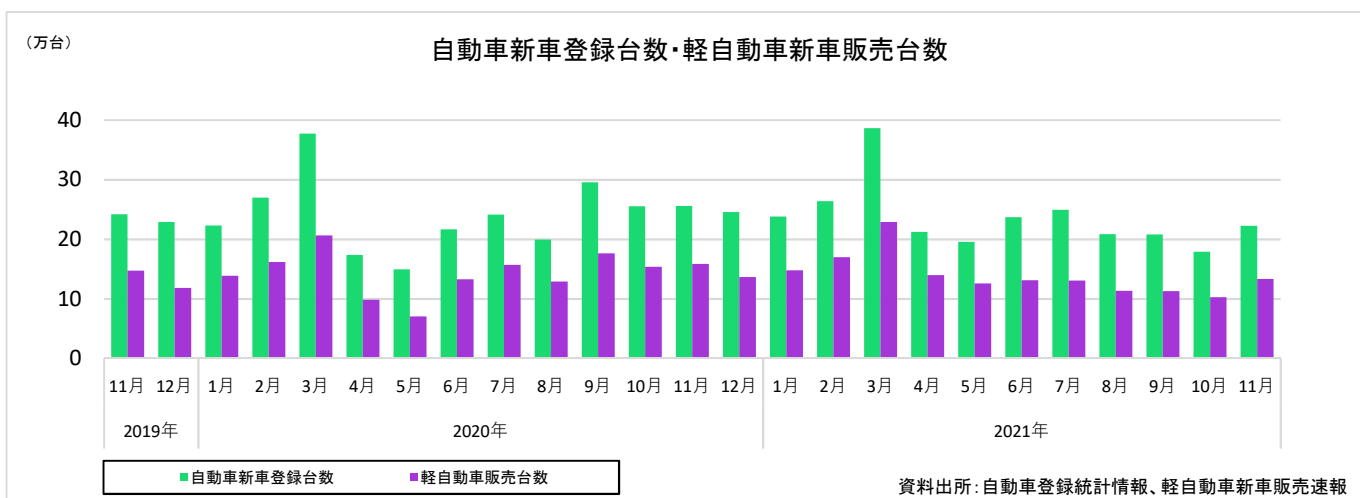
(1) 倉庫

9月の普通倉庫の入庫高は234万トン（対前年同月比6.7%減少）、保管残高は522万トン（対前年同月比2.1%減少）、回転率44.7%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

11月の自動車新車登録台数は22万台（うち貨物車登録台数3万台、旅客車登録台数19万台）となった。
11月の軽自動車販売台数は13万台となった。



(3) 自動車保有台数

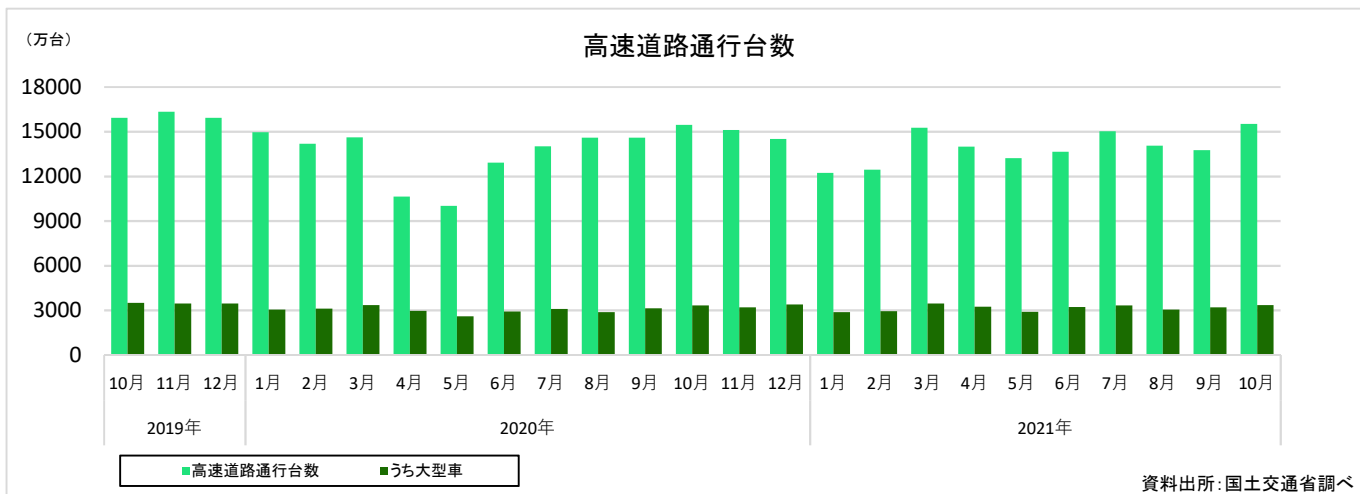
10月の自動車保有台数は8,249万台となった。

(4) 高速道路通行台数

10月の高速道路通行台数は15,512万台（対前年同月比0.4%増加）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,342万台であった。

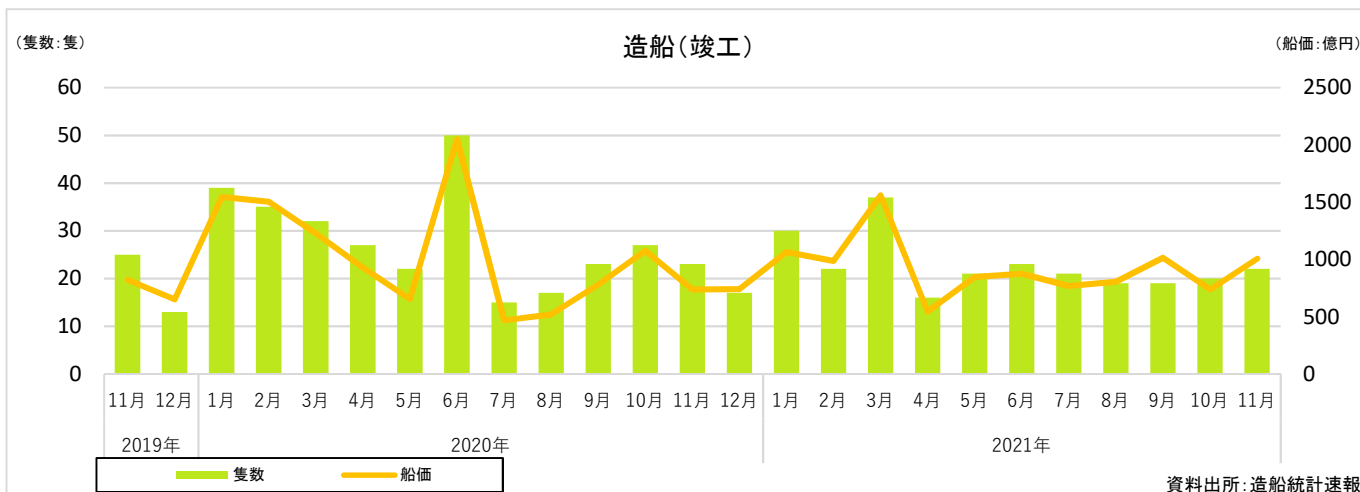
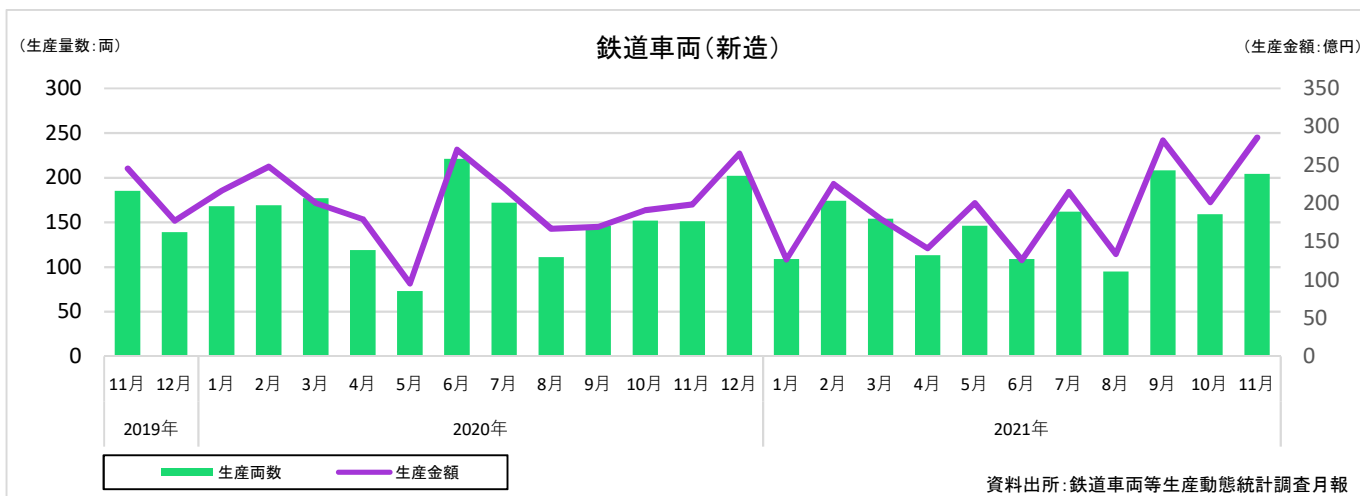
また、東名高速道路通行台数は1,240万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

11月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は204両、286億円となった。

11月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は22隻、785,677G/T、1,008億円となった。

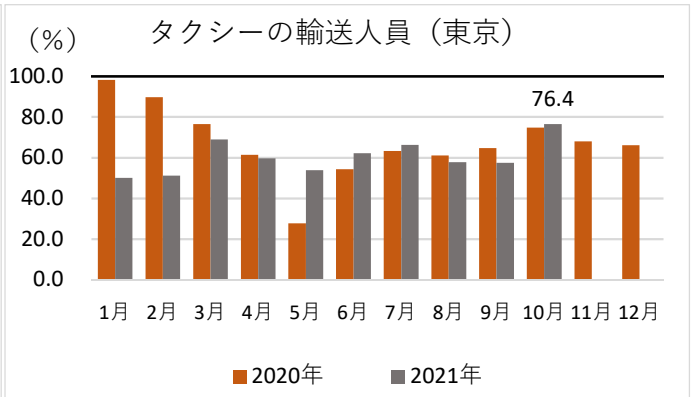
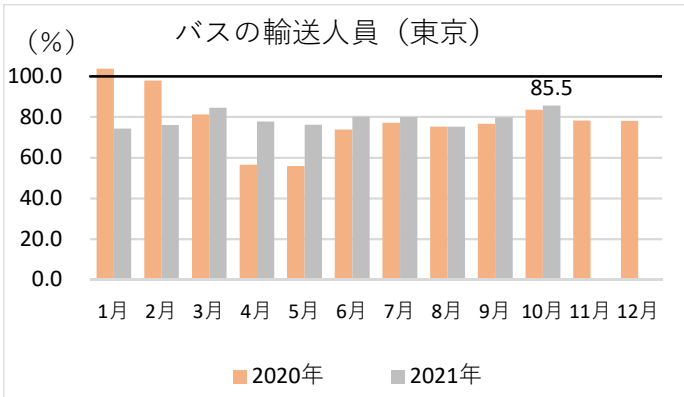


(参考) 旅客輸送の対 2019 年同月比について

(1) バス・タクシー

10月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の対2019年同月比は85.5%となった。

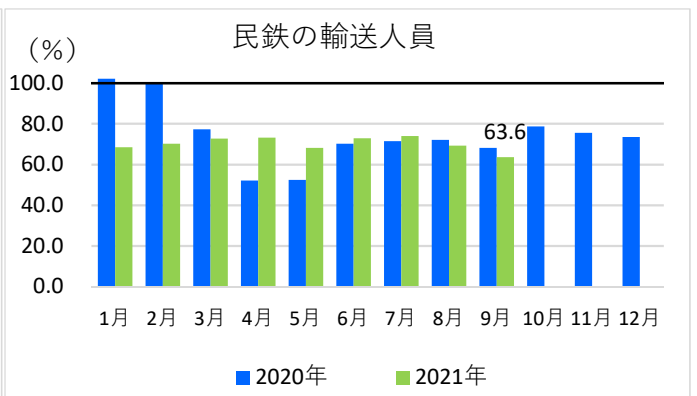
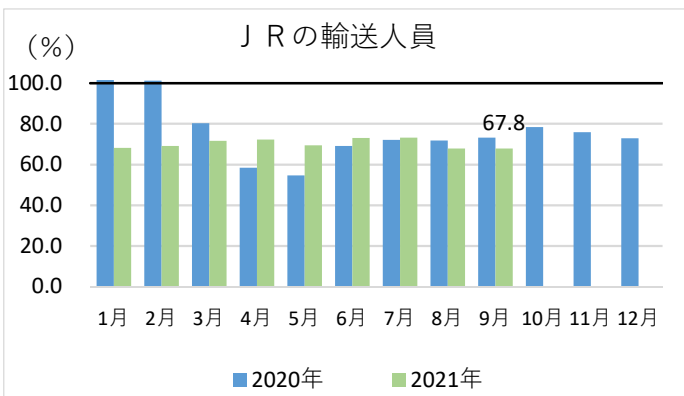
10月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対2019年同月比は76.4%となった。



(2) 鉄道

9月のJRの対2019年同月比は67.8%となった。

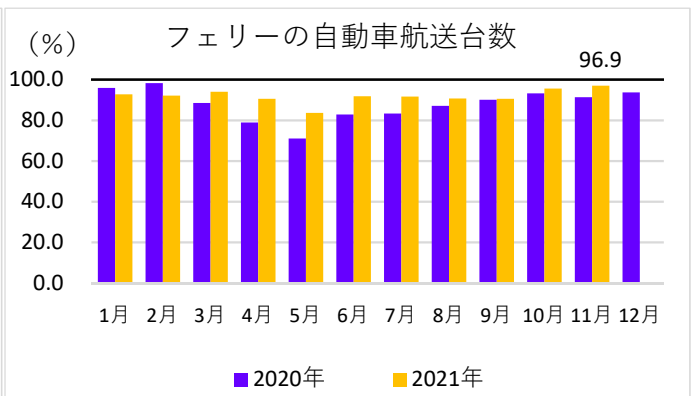
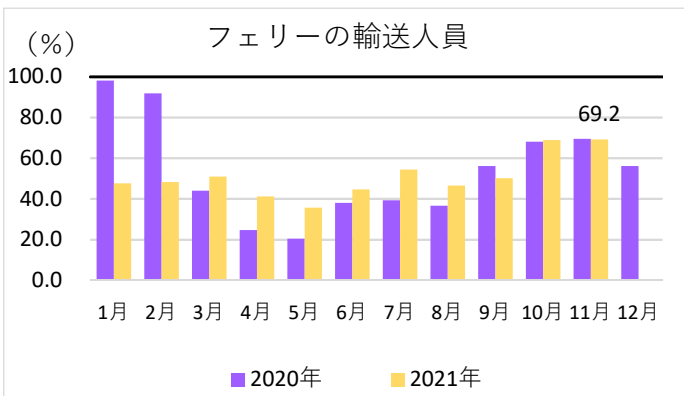
9月の民鉄の対2019年同月比は63.6%となった。



(3) フェリー

11月の長距離フェリーの対2019年同月比は69.2%となった。

11月の自動車航送台数の対2019年同月比は96.9%となった。



(4) 航空

10月の国内線の対2019年同月比は51.4%となった。

10月の国際線の対2019年同月比は6.3%となった。

